

令和5年度 事業報告

令和5年度の始まりとともに、長く続いたコロナ禍が収束を見せ始め、街は多くの人で賑わうようになり、以前のような活気を取り戻したような元気さを感じる年度となりました。

一方、燃料価格の高騰は依然として続いたままで、運送事業の原価となる運行費は高止まりし、事業経営に大きな影響が及んでおり改善されない状況が続きました。

令和5年度をあらためて振り返ると、政治・経済・社会などあらゆる面で変化の多い1年であったことが理解できます。大きな変化について、変化①～④として下に示します。

変化① なによりも5月8日新型コロナウイルス感染症の位置づけが、これまでの「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」から「5類感染症」に移行したこと。これにより、法律に基づく外出自粛などの要請はなくなり、マスク着用などの感染対策は個人や事業者の判断となりました。コロナ禍明けとして、経済活動は本格的な再開となり、自粛要請されてきたイベントの復活や旅行者の増加といった動きも顕著となりました。

変化② 4月に日本銀行総裁が交替。今後の金融政策の変化やコロナ禍開きの景気回復に向けての期待などと相まって、6月に日経平均株価が約33年ぶりに3.3万円台に回復。9月には東証株価指数(TOPIX)も33年ぶりの高値となりました。活発な経済活動の再開を感じる年となり、実体経済への反映へと繋げるための変化の年となりました。

変化③ 物価の高騰。ロシアによるウクライナ侵攻の継続による国際社会の分断、欧米の金融引き締め、中国経済の鈍化など、長引く世界情勢の緊迫を背景に、輸入に頼る原材料や原油価格の高騰が続いています。さらに、10月には1ドル=150円台に再びなるなど依然として続く円安の影響も大きなものでした。政府は2023年6月以降段階的に縮減してきた燃料油元売り業者への補助率を9月から10月にかけて引き上げる措置を実施しました。年度を通じ消費者物価指数は前年同月比3%台で伸びていますが、しかし 運送事業における運賃は価格転嫁が充分進んでいない状況にあります。

また、政府は「活発な経済活動」「緩やかなインフレ」「労働者の賃金引き上げ」「消費需要・内需拡大」による「経済の好循環」を創出するための動きを強化しています。

変化④ 運送事業にかかわる法律や制度が複数施行されました。4月には労働基準法が改正され、月60時間を超える時間外労働の割増賃金率が企業規模を問わず一律50%以上となり、これにより中小企業の割増賃金率も25%以上から50%以上に引き上げられました。

さらに、2024年4月からの時間外労働を年間960時間までとする上限規制。また、運転者の労働時間等の改善基準も告示内容が改正され、トラックドライバーの拘束時間や休憩・休息の見直しなど、働き方を大きく改善することが必須となりました。

これらの変化①～④は、今後の運送事業の経営改善、トラックドライバーの人員不足解消、運送事業の持続/継続など、貨物自動車運送事業の根幹に関わる大きな変化でもあります。

変化への対応が、まさしく「物流の2024年問題」への対応となってまいります。

このため、令和5年度は年間を通じて「働き方改革に関する周知と対応」「人材不足・労働対策」「標準的な運賃」「改正改善基準告示」「荷主啓発」「会員様からの相談対応」など、「物流の2024年問題」に係る事項に重点を置いて事業を展開してまいりました。

また、1月1日には令和6年能登半島地震が発生しました。犠牲となられた方々にお悔み申し上げますとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

地震による甚大な被害が明らかになると同時に、三重県からの被災地支援の動きが始まり、被災地に向けての支援物資の緊急輸送要請を三重県から受けました。三重県トラック協会は三重県との間で災害時の緊急物資輸送についての協定を締結しており、会員事業所のご協力の下、1月2、3日の初動2日間に、三重県の防災拠点での備蓄物資、水10万リットル・ブルーシート2500枚・非常食アルファ米7500食を石川県に向け輸送をおこないました。その後、三重県が支援する自治体が輪島市となったことにより、輪島市内への物資輸送、ならびに、三重県緊急消防援助隊の輪島市内での活動支援のための輸送についても協力しております。昨年度から危機管理検討委員会が発足し、今後起こりうる災害をはじめ危機対応についての検討をおこなっておりますが、実際の災害緊急輸送の経験を積むこととなり、今後の危機対応に生かしてまいります。

なお、昨今の燃料高騰に関しては、今年度も三重県から「燃料高騰対策支援金」の交付が決まり、普通・特種自動車は20,000円／1台、小型・軽自動車は3,000円／1台を事業者の皆様にお受け取りいただいたほか、一部の市町においても支援金がありました。

その他、令和5年度の事業概要は下記のとおりです。

1. 事業経営対策／近代化対策／労働対策事業

トラックを魅力ある業界として、働く仲間を増やすことができる労働環境とするため、現状の働き方を改革するための法整備がすすんでいます。労働力不足と先行きに対する危機感、さらに現在の輸送サービスの維持が困難となりつつある現状から「物流の2024年問題」が広く理解されるようになってきました。

ドライバーの時間外労働は一般職と比較するとまだ緩和された規制であるものの、令和6年4月から年間960時間までとする上限規制が始まり、また運転者の労働条件改善のために、年間労働3300時間や休憩・休息の必要時間などの基準も改正されることとなりました。

その対応については運送事業者だけでの改善は難しく、発着荷主様にも理解され、一緒に改善を図る必要があることや、「標準的な運賃」で示された輸送サービスの対価を荷主様に理解いただくことが必要になります。

このため令和5年9月には、運送事業者・荷主様がご一緒いただいたのセミナー「物流クライシス2024」を開催。約300名に参加いただき「直面している課題や今後の対応策」を理解いただいたところです。

ほかにも「改善基準告示セミナー」「労働セミナー」「標準的な運賃活用／運送原価セミナー」などにより、2024年問題関連について勉強する機会を多数設けました。

人材確保では、求職者への合同就職説明会／ミニ面接会。学生へのインターンシップPR。一般参加の夏休み社会見学「物流見学会」も本年度も実施してきたところです。

2. 交通安全対策／環境対策事業

「飲酒運転ゼロ」の取り組み啓発。「健康に起因する事故防止」「交通事故防止と安全プラン2025セミナー」「労災防止・安全衛生セミナー」などの勉強会。また「安全宣言200days」で会員様参加型の無事故無違反ラリーなどにより安全への取り組みを進めました。

「環境にやさしいトラック輸送」については、10月9日「トラックの日」に、県下9支部において道路の清掃活動を実施。また、会員事業所に交通安全と環境保全のぼり旗を配布したほか、「ゴミは持ち帰ろう！」ステッカーによる啓発をおこないました。

会員様参加型の「環境にやさしいトラック輸送／事業所宣言」も引き続き実施してまいりました。実施事業の詳細は次ページ以降に記載しております。

1. 会員の入退会状況

支部	期首会員数	入会	退会	支部間移動		期末会員数
				転出	転入	
桑員	105	0	3	0	0	102
北勢	295	7	3	0	0	299
鈴鹿	166	10	6	0	0	170
津	127	2	3	0	0	126
松阪	132	1	3	0	0	130
南勢	70	1	2	0	0	69
伊賀	93	1	0	0	0	94
紀北	24	0	1	0	0	23
南紀	8	0	0	0	0	8
旧営業区域のみ	5	0	0	0	0	5
利用運送事業	19	0	0	0	0	19
合計	1,044	22	21	0	0	1,045

① 入会員名（日付順）

名称	代表者	所在地	区分
ヒデ(株)		伊勢市小俣町新村129-2	南勢
(株)MBT	河村 憲秀	四日市市高見台一丁目19番地5	北勢
(株)マツオカ		津市高茶屋小森町1707番地400	津
(同)SPIRALNET	伊達 秀彰	鈴鹿市住吉5丁目8-25	鈴鹿
(株)ハマトモ	濱田 秀幸	鈴鹿市大池2丁目15-14	鈴鹿
西日本エア・ウォーター物流(株) 亀山物流センター	今井 啓太	亀山市白木町字西大谷1700-5	鈴鹿
(株)花屋輸送		鈴鹿市磯山一丁目7番33号	鈴鹿
(有)富士クラッチ工業所	藤村 貴	四日市市八田三丁目7番9号	北勢
(株)煌栄	平山 智也	四日市市楠町本郷286-11	北勢
大興通商(株)	太田 耕一	津市庄田町2202-21	津

(株)神亜		亀山市布気町144番地13	鈴鹿
井口操播(株)	井口 直人	四日市市江村町838番地1	北勢
中村商事(株)	中村 和弘	鈴鹿市肥田町328番地	鈴鹿
(株)丸谷建設	藤田 弘信	四日市市大矢知町493番地1	北勢
コスモ農産(株)	武智 道博	亀山市田茂町字萩野530	鈴鹿
勇樹商事運輸(株)	吉澤 勇治	伊賀市桐ヶ丘5-331	伊賀
D I TRANSPORT(株)		松阪市桜町581番地47	松阪
(株)涼希通商		三重郡川越町高松988-3 2F	北勢
(株)ニックス	新田 浩己	鈴鹿市白子3丁目18番25号	鈴鹿
フィール(株) 中部営業所		四日市市伊倉3-2-19-102	北勢
(株)富屋物流サービス		鈴鹿市野辺1丁目1-19 中西壺番館206	鈴鹿
(株)プロジェクトT・Y	山田 貴広	鈴鹿市岡田3丁目7-3リバーサイド鈴鹿206号室	鈴鹿

② 退会員名 (日付順)

名 称	代表者	所 在 地	区分
宮前陸運(有)		松阪市五主町382-1	松阪
(株)山運 三重営業所	山本 大輔	一宮市多加木2-9-14	北勢
伊勢物流(有)	廣 一幸	伊勢市宮川1丁目13-15	南勢
シマリク	北尾 慶治	志摩市阿児町神明1186-12	南勢
竹内運送(有)	竹内 加代子	鈴鹿市池田町928-7	鈴鹿

日本図書輸送(株) 三重営業所		津市高茶屋小森町1575-4	津
(有)伸光商会	川北 浩雄	鈴鹿市石薬師町2458-13	鈴鹿
(株)銀正 三重営業所		一宮市木曾川町外割田字伊勢田195-1	鈴鹿
四海商運(株)	福田 良海	四日市市楠町北五味塚1355番地1	北勢
(株)川北	住谷 和也	多気郡多気町大字土羽753-4	松阪
(株)Next Innovation 三重営業所		いなべ市大安町南金井2845-8 T'sDream大安105号室	桑員
新興運輸(株)	柴田 貢	桑名市大字和泉字ホノ割502(柴田運送(株)内)	桑員
(有)佐竹建材		四日市市水沢町3017-1	北勢
鈴鹿自動車工業(株)	金子 隆一	鈴鹿市寺家町1570	鈴鹿
(株)東照物流倉庫	野間 英和	鈴鹿市桜島町6丁目15-6	鈴鹿
(株)ウザワコーポレーション	宇沢 工	松阪市久保町1055-14	松阪
興國海運(株) 鈴鹿営業所	戸谷 武彦	鈴鹿市平野町字丸山477-1	鈴鹿
(有)成友物流	長谷川 茂次	津市安濃町内多2986-1	津
東建産業(株)	中野 具起	北牟婁郡紀北町東長島1145番地の5	紀北
(有)富屋物流	青木 富雄	津市河芸町東千里57-1	津
(有)丸半運送	伊藤 正	桑名市大字和泉71	桑員

2. 会議等の開催状況

・政策協議会

年月日	議事事項
令和5年5月10日	①令和5年度通常総会上程議案関係 (1)令和4年度 事業報告・公益目的支出計画実施報告 (2)令和4年度 収支決算報告（貸借対照表、正味財産増減計画書） (3)理事の欠員に伴う補充選任 (4)令和5年度事業計画及び収支予算 ②運転者表彰規定に基づく被表彰者候補について ③令和5年度通常総会開催要領について ④その他
令和5年7月5日	①当面の事業推進（新年度事業）について ②政治資金パーティの開催要領
令和5年9月20日	①燃料価格高騰・2024年問題への対応 ②行政が行う防災訓練参加と物流専門家による評価の実施 ・三重県総合防災訓練（鳥羽市） ・伊賀広域防災拠点実働訓練（伊賀市名張市） ③全日本トラック協会全国事業者大会について ④その他
令和5年12月13日	①各委員会からの報告（業務運営委員会・危機管理検討委員会） ②令和5年度助成事業の状況と次年度助成金 ③当面の諸問題 ・三重県燃料高騰対策支援金 ・地方創生臨時交付金「重点支援地方交付金」追加に伴う各市町への要望活動 ・物流革新緊急パッケージ ④令和6年度事業計画（骨子）について ⑤その他
令和6年2月28日	①令和5年度 事業の進捗と助成事業の状況 ②令和6年度事業計画(基本計画)、適正化事業予算（案） 助成事業概算予算（案） ③当面の諸問題 ・荷主啓発／会員周知 ・事務局体制について ④その他

・理事会／交付金運営委員会

年月日	議事事項
令和5年5月24日	①近代化基金融資 第2次分推薦について ②三重県トラック協会 令和5年度 通常総会上程議案について (1)令和4年度事業報告・公益目的支出計画実施報告 (2)令和4年度収支決算報告（貸借対照表、正味財産増減計画書） (3)理事の欠員に伴う補充選任 (4)令和5年度事業計画及び収支予算 ③運転者表彰規定に基づく被表彰者候補について ④令和5年度通常総会開催要領について

年月日	議事事項
令和5年7月12日	①当面の事業推進(新年度事業)について ②近代化基金融資 第3次分推薦について ③トラックの日の行事について ④全国トラック運送事業者大会について ⑤その他
令和5年10月11日	①助成金の進捗状況について ②近代化融資の推薦について ③各委員会報告(業務、適正化、危機管理検討委員会) ④燃料価格高騰・2024年問題への対応 ⑤行政が行う防災訓練参加と物流専門家による評価の実施 ・三重県総合防災訓練(鳥羽) ・伊賀広域防災拠点実働訓練(伊賀氏名張市) ⑥トラックフェスタについて(青年部会・女性部会) ⑦次期役員改選における支部別役員定数について ⑧その他
令和6年1月31日	①各委員会からの報告(業務運営委員会・危機管理検討委員会) ②適正化事業の報告ならびに本年度助成事業の状況 ③近代化基金融資制度の申込みと推薦 ④当面の諸問題等 ⑤令和6年度事業計画 基本方針について
令和6年3月13日	①令和5年度交付金及び一般会計予算執行状況の承認について ②令和6年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認について ③令和6年度近代化基金融資推薦について ④会費未納会員(資格喪失)の取扱について ⑤今後の行事予定について ⑥その他

・業務運営委員会

年月日	議事事項
令和5年8月4日	①本年度の業務運営について (1)年間計画と進捗状況 (2)物流2024年問題対策 (3)その他検討事項 ②その他/意見交換 ・燃料高騰対策要望
令和5年12月11日	①燃料高騰対策支援金について ②地方創生臨時交付金「重点支援地方交付金」要望活動 ③2023年度の事業運営ならびに助成金の執行状況など ④新たな標準的な運賃設定と荷主取引 ⑤最近の情勢や意見交換会 ⑥その他

年月日	議事事項
令和6年2月19日	①燃料高騰対策支援金 最終申請報告 ②能登半島地震の支援物資輸送の対応 ③今年度の事業運営状況 ④次年度の事業計画策定に向けて (1) 物流革新に向けた物流パッケージと荷主取引 (2) 取り組み計画と助成金 ⑤最近の情勢や意見交換 ⑥その他

・適正化運営委員会

年月日	議事事項
令和5年8月10日	①令和5年度適正化事業の事業状況報告 ②令和5年度巡回訪問の結果報告 ③令和5年度物流セミナーについて
令和6年2月21日	①令和5年度適正化事業の報告 ②令和5年度巡回訪問の結果報告 ③令和6年度適正化事業計画(案)・事業予算(案) ④令和6年度物流セミナーについて


・適正化事業実施機関評議委員会



年月日	議事事項
令和6年3月15日	①令和5年度適正化事業報告 ②令和5年度巡回指導結果報告 ③令和6年度適正化事業計画

・危機管理検討委員会

年月日	議事事項
令和5年8月10日	①災害物流専門研修について ②危機管理検討委員様連絡網について ③緊急時対応ブック、緊急輸送対応の登録会員について ④その他/意見交換
令和5年12月11日	①行政実施の防災訓練振り返り (1)伊賀広域防災拠点実動訓練 (2)南海トラフ地震津波防災訓練 (3)三重県総合防災訓練 (4)その他の状況 ②三重県からの感染症発生時の配送等 協定締結依頼についての対応 ③委員会取り組みについての意見交換 ④その他
令和6年2月19日	①令和6年能登半島地震の支援物資輸送の対応報告と今後の課題 ②緊急輸送対応の会員登録 ③危機管理検討委員会様連絡網 ④次年度の取り組み/その他

3. 重要事項／重点取組み

項目	内容	補足事項
改善基準告示の見直し	<p>年960時間の時間外労働規制に合わせて自動車運転者のための労働時間等の改善基準が令和4年12月23日に告示されました。</p> <p>拘束時間 1年 3,300時間以内 1ヶ月 284時間以内 1日 13時間以内 (上限15時間以内)</p> <p>1日の休息期間 継続11時間以上 9時間を下回らない</p> <p>連続運転時間 4時間以内 運転の中断は休憩する</p> <p>予期し得ない事象(事故、故障、災害等)の対応に要した時間の規制適用除外が設けられました</p>	<p>令和6年4月1日より適用</p> <p>・例外 拘束時間 1年 3,400時間以内 1ヶ月 310時間以内 年6ヶ月まで 284時間超は連続3ヶ月まで 1ヶ月の時間外100時間未満に</p> <p>1運行が450km以上の長距離運行 16時間まで延長可(週2回まで)</p>
遠隔点呼	<p>令和4年4月1日より、要件を満たす機器・システムを用いて遠隔拠点間でおこなう点呼が実施できる「遠隔点呼」の申請が始まりました</p> <p>「遠隔点呼」はGマークを取得していない事業者でも実施することができ、対面点呼を実施したものと取り扱うことができます。</p>	<p>機器・システム要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ・モニターで、顔の表情、全身、酒気帯びの有無、疾病、疲労、睡眠不足等の状況を確認できる ・なりすまし防止のため生体認証機能 ・点呼結果や故障記録の電磁的保存 <p>環境要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境照度 ・監視カメラの設置 ・通信、通話環境の確保
乗務後の自動点呼	<p>令和5年1月より国土交通省の認定を受けた機種を利用して乗務後の点呼が自動で行うことが出来るようになりました。</p>	<p>乗務後点呼のみの自動化ですが、乗務前点呼の自動化の検討が進んでいます。</p>
トラックGメン創設	<p>貨物自動車運送事業法に基づき、適正取引の監視強化のためトラックGメンを創設。荷主企業や元請け運送事業者へ適正な取引の「働きかけ」「要請」を推進します。</p>	<p>全国で162名が任命。 令和5年11月12月にトラックGメン集中監視月間として164件の要請と47件の働きかけを実施</p>
安全性優良事業所	<p>全日本トラック協会は令和5年12月15日安全性優良事業所の認定を行いました。 事業所(営業所)ごとに認定され、全国で29,044事業所がGマークを取得しています。 法令順守や交通安全対策などの取り組みを評価し基準をクリアした事業所を認定する制度です。</p>	<p>全事業所の33.6%が認定されています。</p> <div data-bbox="1145 1713 1437 2011" style="text-align: right;">  </div>

項目	内容	補足事項
引越事業者優良認定	<p>全日本トラック協会は、令和5年12月18日引越事業者の優良認定を行いました。</p> <p>認定事業者数は合計353の事業者です。</p> <p>安全安心な引越事業者の見える化・引越業界全体のコンプライアンス向上・引越の苦情やトラブル防止のため、Gマーク取得と引越管理者講習修了者在籍が認定要件です。</p>	<p>苦情対応の体制や責任の所在、適切な従業員教育をしているか等を審査し、令和5年度は新たに16事業者が認定されました。</p> 
働きやすい職場認証制度	<p>転者職場環境良好度認証制度（働きやすい職場認証制度）の一つ星及び二つ星新規申請と継続申請、三つ星新規申請が実施されました。</p> <p>評価項目は「法令遵守」「労働時間・休日」「心身の健康」「安心・安定」「多様な人材確保・育成」の5分野です。</p> <p>2年間ごとに更新が必要となります。</p>	<p>運転者の労働条件や労働環境を第三者機関が評価し「見える化」することにより、事業者の労働環境の改善取組と求職者へのイメージ刷新を図ります。</p> 
整備管理者制度の運用通達の改正	<p>大型車の車輪脱落事故の多発を受け、不適切な車輪脱着作業や保守管理によりタイヤ脱落事故を惹起した運送事業者や整備管理者は行政処分の対象となりました。</p>	<p>大型車のホイールボルト折損等による車輪脱落事故を起こした事業者</p> <p>行政処分 初違反 20日車 再違反 40日車</p> <p>3年間で2回事故を起こした事業者の整備管理者は解任命令</p>
道路交通法一部改正 高速道路の最高速度	<p>令和6年4月1日より車両総重量が8トン以上の中・大型トラックについて、高速道路での最高速度を時速80キロから90キロに引き上げる道路交通法の施行令が改正されました。</p>	<p>トレーラ、大型特殊自動車については時速80kmで据え置きです。</p>
安全衛生規則一部改正	<p>令和5年10月よりこれまでの最大積載量5t以上から最大積載量2t以上の貨物自動車に昇降設備、保護帽着用義務が拡大されました。</p> <p>また令和6年2月より特別教育を必要とする業務にテールゲートリフターの操作業務が追加されました。</p>	<p>昇降設備は可搬式の外、車両に設置された昇降用ステップも対象です。</p> <p>保護帽は最大積載量2t以上5t未満であって側面が構造上開放または開閉出来るもの（平ボディ、ウイング）、テールゲートリフターが設置されるものが対象です。</p>
高速道路料金	<p>物流コスト低減と燃料費対策として、高速道路料金の割引拡充や期限延長など、トラックの業界要望として提出しています。</p>	<p>令和5年度の補正予算としてETC2.0装着車は高速道路の大口・多頻度割引最大50%は1年延長となりました。貨物運送事業者の営業用車両のみが対象となりました。予算78億。</p>

4. 交通安全対策

項目	内容	摘要
助成事業	①適性診断受診 一般3,304名 初任1,907名 ②運行管理者講習 ③運輸安全マネジメント講習 ④運転記録証明交付助成 ⑤交通安全行事(チャレンジ123)参加助成 ⑥EMS機器導入助成 ⑦ドライブレコーダー機器導入助成 ⑧安全装置等導入助成 (バックカメラ) ⑨可動式突入防止装置導入助成	適齢 586名 カウンセリング11名 19,922千円 一般 1,379名 基礎 491名 8,783千円 1名 3千円 14,567名 9,760千円 4,545名 (副賞含む) 2,273千円 710台 20,941千円 304台 4,647千円 448台 13,334千円 8台 240千円
啓発事業	①交通安全運動推進 チラシ配布 ②正しい運転明るい輸送運動 ③トラック環境美化啓発ステッカー ④交通安全幟の配布 (営業所×幟2枚) ⑤SafetyDrive大判ステッカー+カレンダー ⑥運輸安全マネジメントの取り組み啓発 ⑦年末年始の安全総点検 ⑧交通安全教室開催支援 ⑨新小学1年生への下敷き配布 ⑩テレビ、ラジオによるPR活動 ⑪ウェットテッシュ・反射材 (三重県警) ⑫安全宣言表彰グッズ(ボールペン) ⑬インターネット広報 ⑭みえ交通フェスタ (三重運輸支局主催)	年4回 春/夏/秋/年末 各期の安全運動 告知情報掲載 ゴミは持ち帰ろうステッカー 交通安全 環境を守ろうノーポイ宣言 安全宣言200days取組ツール 新規事業者へマネジメントボードの配布 総点検表の配布・報告 桑員支部 16,130枚 三重テレビ、FM三重、イオンシネマなど 各6,000個 3,000本 yahoo広告 イベントにブース出店
教育研修 その他 行事	①中部トラック研修センター等の活用 ②トラックドライバーコンテスト ③街頭パトロール等の活動 ④安全プラン2025目標達成セミナー ⑤安全宣言200days ⑥整備管理者研修 協力 ⑦初任運転者特別指導 (初任ドライバー研修) ⑧初任運転者指導(eラーニング講習) ⑨特殊車両通行確認制度説明会 ⑩陸運事業者のための安全マネジメント研修	利用者 90名 28名参加 四日市 支部活動協力 高速安協活動協力 26名 四日市 128社 3004名参加 選任前 144名 選任後 586名 延べ142名 (3回) 津・四日市 利用者 268名 22名 津 42名 四日市

5. 環境対策

項目	内容	摘要
助成事業	①近代化融資 (ポスト新長期車購入融資) ②低公害車導入助成 ③ポスト新長期規制適合車導入助成 ④アイリングストップの為に機器助成 蓄熱マット、毛布4枚 ⑤省エネ走行研修助成 ⑥ISO14001、グリーン経営取得継続助成	36社 39件 494千円 ハイブリッド車 0台 0千円 136台 10,880千円 蓄冷機、蓄熱・温水機63台 2,797千円 21名 154千円 近代化対策事業に記載

項目	内容	摘要
啓発事業	①アイドリングストップ、ノーポイ運動幟 ②アイドリングストップ宣言ステッカー ③クリーンアップ地域活動支援 ④テレビ・ラジオによるPR活動 ⑤環境取り組み会員啓発	交通安全幟と併用 環境にやさしいトラック輸送 取組ツール 南紀支部 三重テレビ、FM三重、イオンシネマなど ホテルカレー3,000個
教育研修 その他	①トラックの日 ②不正軽油使用防止活動 ③環境にやさしいトラック輸送 ④グリーン経営認証取得セミナー	9支部 274名 45社 取り組み宣言 中部運輸局主催セミナーを周知

6. 近代化対策 事業経営対策

項目	内容	摘要
助成事業	①近代化融資(一般融資) ②支部研修事業助成 ③運転資金等一部利子補給 ④信用保証料助成 ⑤上位免許取得促進助成 ⑥安全衛生法資格取得支援助成 ⑦ISO14001他(取得・継続)助成 ⑧グリーン経営(取得・継続)助成 ⑨働きやすい職場認証制度助成	7社 7件 107千円 5回 829千円 279件 15,175千円 25件 2,184千円 239件 15,554千円 199件 980千円 12社 600千円 21社 605千円 29社 720千円
情報提供 調査研究	①広報とらつく 月2回無料配布 ②定期発送による情報提供 ③交付金による各種助成事業の広報 ④事業報告書・事業実績報告書 ⑤燃料価格調査 ⑥WebKITの情報提供	全ト協より全会員へ直送 毎月1回 助成事業一覧広報配布 協会HP 報告書の提出指導と経営分析報告書 4ヶ月毎に報告 求荷求車情報ネットワーク
教育研修 その他	①国交省・標準的な運賃届出の促進 ②社員研修ビジネス講座 ③運行管理者試験対策講座 ④原価計算、標準的な運賃活用セミナー(2日間) ⑤引越事業者優良認定制度説明会 ⑥引越基本講習 ⑦引越管理者講習	会員相談と届出促進について対応 35名 津 8月試験分 99名 3月試験分 73名 基礎編 29名 津 活用編 29名 津 youtube配信 16名 津 25名 津

7. 労働対策

項目	内容	摘要
助成事業	①睡眠時無呼吸症候群(SAS)・突発性 運転不能障害疾患検査費用助成 ②健康診断受診助成	897名 3,954千円 8,081名 23,680千円

項目	内容	摘要
啓発事業	①ホワイト物流推進運動 ②テレビ、ラジオによるPR活動 ③労働時間短縮に係る荷主啓発 ④標準運賃活用、荷主・会員啓発 ⑤トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会	全ト協・三ト協HPで掲載 三重テレビ、FM三重、イオンシネマなど 計画出荷・安全な輸送時間確保・待機時間の削減 標準的な運賃の周知、 待機削減・積卸作業・附帯業務の料金 持続可能なトラック輸送新聞広告
教育研修 情報提供	①過労死等防止・健康起因事故防止セミナー ②働きやすい職場認証取得セミナー ③運送事業賃金労働時間データ集 ④働き方改革特設ページ ⑤労働セミナー ・物流「2024年問題」解決のため ・荷主とのパートナーシップ実現に向けて ⑥人材確保事業打ち合わせ ⑦運送業ハローワーク求人説明会 (就職希望者のミニ面接会) ⑧物流見学会 ⑨求人サイトの構築 ⑩労務研修会 人材開発支援助成金について	21名 四日市 13名 四日市 全日本トラック協会HPで公開 35名 津 講師 瀧澤 学 26名 津 講師 森田 司 4名 オンライン会員参加5名 津・四日市 求職者70名 求人会員20社 会員7社 一般参加者 23組65名 全ト協・三ト協HPで掲載 68名 四日市

8. 社会との共生

項目	内容	摘要
トラック の日 関連	トラックの日 道路清掃 トラックフェスタ2023 in 四日市 来場4,367名	9支部 15箇所 274名 四日市市民公園 運営:青年部会・女性部会
緊急輸送	①災害物流専門家研修 R5/8/2~3 ②県伊賀地方部防災拠点実動訓練 R5/10/13 ③南海トラフ地震・津波防災訓練 R5/11/5 ④三重県総合防災訓練 R5/11/26 ⑤能登半島地震 支援物資輸送活動 R6/1/2~20 ⑥県東紀州拠点 リフト荷役操作訓練 R6/1/25 ⑦松阪管内市町県救援物資輸送訓練 R6/2/14	三重県広域防災拠点(北勢拠点) 参加事業者 12社15名 参加行政 7機関20名 県伊賀拠点、名張市 拠点運営訓練 物資輸送訓練 紀宝町 物資輸送訓練 鳥羽市、県伊勢志摩拠点 物資輸送訓練 石川県輪島市、七尾市他 支援物資輸送 協力会員事業社 21社25車 県東紀州拠点 車両へのリフト積み込み操作訓練 県伊勢志摩拠点、松阪周辺市町 物資輸送訓練

9. 適正化事業

項目	内容	摘要
巡回指導 パトロール 活動	①事業所巡回指導 ②新規巡回・労働時間特別巡回(内数) ③適正化事業街頭パトロール	428社 新規21社 労働時間労基通報5社 不法駐車・所在不明事業者調査
啓発事業	①過積載防止荷主啓発チラシ ②テレビ、ラジオ、映画館によるPR活動	過積載防止対策連絡会議参画 三重テレビ、FM三重、イオンシネマ
教育研修 その他 行事等	①新規事業者指導 ②個別指導・相談 ③物流セミナー 「自分という人生の長距離ランナー」 ④安全性優良事業所認定 説明会 (Web) ⑤安全性優良事業所 Gマーク認定 ⑥事故防止セミナー (ドライバーの健康起因・過労死を防ぐアプローチ) ⑦安全プラン2025目標達成セミナー ⑧初任運転者特別指導講習(ドライバー研修) ⑨初任運転者指導 (eラーニング講習) ⑩トラックドライバーコンテスト ⑪特殊車両通行確認制度説明会 ⑫原価計算、標準的な運賃活用セミナー (2日間) ⑬陸運事業者のための安全マネジメント研修 ⑭働きやすい職場認証セミナー ⑮労働セミナー ⑯グリーン経営取得セミナー ⑰安全マネジメント研修会 ⑱労務研修会 人材開発支援助成金について ⑲運送業ハローワーク求人説明会 (就職希望者のミニ面接会) ⑳物流クライシス2024 (2024年問題解決に向けて) ㉑IT活用セミナー ㉒改善基準告示解説セミナー	通年相談業務 都度実施 73名 ホテルグリーンパーク津 講師 増田 明美 氏 Web16名 申請受付(新規16、更新110) 21名 以下項目は一部交通安全対策事業に併記 26名 四日市 延べ142名(3回) 津・四日市 利用者 268名 28名 四日市 22名 津 基礎編 29名 津 活用編 29名 津 42名 四日市 13名 四日市 61名(2回) 津 20名(2回) 津・四日市 42名 四日市 68名 四日市 求職者70名 求人会員20社 津・四日市 278名 三重県総合文化センター 50名 四日市 94名 津

10. その他

項目	内容	摘要
青年部会	青年塾 ①令和5年6月17日 32名 「2024年問題をチャンスにかえる！ 中田商事のデジタル化戦略」 ②令和5年11月25日 28名 「若手経営者・若手管理者のお悩み意見交換会」 ③令和6年3月9日 25名 「生成AI活用時代の業務改善とは？」	講師 株式会社 中田商事 代表取締役社長 中田純一 様 愛知県トラック協会 青年部会 尾西支部と合同開催 講師 株式会社 フルバック 藤牧祥吾 様
女性部会	①部会ミーティング 3回 ②中部ブロック女性協議会 代表者会議 2回 ③女性部会勉強会 令和5年9月19日 物流2024年問題 「改善基準告示に付随するもの」 ④全国研修会 令和5年10月13日 「モーダルシフトによる労働時間改善の紹介」 持続可能なトラック運送業界の実現を目指して ⑤中部ブロック研修会 令和6年2月8日 参加者意見交換会 グループディスカッションと発表	活動打合せ・情報交換・意見交換 クリスマスリース実習 中部ブロック研修会等について 講師 総合経営労務センター 代表社員 藤田直樹 様 講師 福貨通運 株式会社 常務取締役 藤井ふぢ美 様 講師 鹿央運輸 有限会社 代表取締役 竹下由美 様 ・講演会「波瀾万丈の人生を経て 夢に賭けた生き方」 講師 即興音楽家 矢吹紫帆 様 パーソナリティ 元FM三重アナウンサー 瀧 裕司 様
情報提供 その他	①トラック税制の基礎知識 ②関係機関への陳情活動	全日本トラック協会ホームページで公開 県選出国會議員 政党県連 県議会会派
事業者 大会	全国トラック運送事業者大会 シンポジウム 「アップデートで進化、 2024年問題への挑戦」 パネルディスカッション	開催地 札幌市 記念講演 「地域密着経営 ～ 道内産品を生かした オリジナル戦略の展開～」 (株)セコマ 会長 丸谷智保 氏
運行管理 者試験	① 第1回試験 8月 5日～9月 3日 ② 第2回試験 2月17日～3月17日	受験者数469名 合格者数144名 受験者数409名 合格者数140名
	運行管理者試験対策講座	津と四日市で開催

付属明細書については、該当事項がないため作成していない。